※ 現行のシステム機器において、使用可能の機能（一部希望する機能を含む）が記載されています。提案する会社により、異なるシステム操作方法で同等の操作が実施可能な場合や、異なる便利機能の設定が想定されます。その場合には、対応方法欄(別紙記載でも良い)に、内容がわかるように具体的に記載をお願いします。

※ 回答欄の記入方法

標準：○

運用等で対応：△（具体的な実現方法を記載すること）

カスタマイズ：▲（カスタマイズに必要な経費を税込みで記入すること。また、その経費は第8号様式の見積書の見積金額に含めること。）

対応不可能：×

※ 会社名： _____

【全般】

処理機能	項目	要求機能	回答	対応方法
画面	1	画面のサイズは任意に変更することができ、画面サイズに準拠して、画面内の入力項目のサイズも自動的に変更できること		
	2	画面のサイズはメニューより、スクエア画面（4:3）・ワイド画面（16:9）など使用端末の運用に合わせ、随時変更が可能であること		
	3	データ登録を行う画面において、必須入力となる項目に任意の背景色、文字色を設定できること		
	4	全画面において、入力カーソルがある項目に任意の背景色、文字色を設定できること		
	5	使用する画面のフォントは任意に設定できること		
	6	全画面にログイン ID と処理端末 ID が表示できること		
	7	1 台の端末で複数画面（最低 3 画面）が起動できること		
入力	8	処理選択・コード値選択がマウス及びファンクションキーで操作できること		
	9	TAB キー、Enter キー、上下キーにより各入力項目間のカーソルを移動できること		
	10	操作ボタンのサイズに十分な大きさがあり、ディスプレイがタッチパネル式であれば指でタッチすることによって無理なく操作できること		
	11	バーコードリーダーによる読み込み時、機器等からの確認音で読み込みに成功したことが確認できること（読み込みができていない場合にはエラー音を出せること）		
	12	貸出画面や返却画面の資料明細で、マウスの右クリックにより資料情報やタイトル情報の修正画面等ショートカットメニューが起動する等、業務の簡略化が図られていること		
	13	データ登録画面において、データ入力中に登録処理を行わないまま、誤って「終了」ボタンをクリックしたとき、確認メッセージが表示できること		
画面展開	14	貸出・返却等、各関連業務内の処理画面の個々の展開は、メニュー画面に戻らなくても可能なこと		
	15	ワンタッチ起動ボタンのあるパソコンを使用する場合は、起動する別画面は、任意に設定できること		
	16	画面展開の際、不要な確認については求めることなく表示すること		
	17	画面の遷移状況を表示し、その遷移過程にある画面には、ワンクリックで戻ることができること 例) ①貸出処理→②利用者検索画面→③利用者登録画面→④利用者貸出一覧画面の順で遷移したとき、①②③どの画面にも戻ることができること		
業務メニュー	18	業務メニューの構成は、各館及び端末ごとに変更できること		
	19	職員 ID を設定することにより、職員 ID ごとに業務メニューを設定できること		
	20	ログイン情報画面での処理端末 ID の変更可否を制御できること		
	21	基本業務はファンクションキー等に機能を割り当てたボタンを押すことで起動可能なこと		
	22	業務メニューはボタンの配置場所、配置の順番、空きスペース等、それぞれの業務ごとに設定可能なこと		
	23	メニュー画面に長期予約割当/長期予約待ち/予約受取り希望日/予約割当可能資料/保管期限切れ雑誌が何件あるのかを表示できること また対象資料を一覧で表示できること		
統計処理	24	貸出や返却の統計データについては、リアルタイムにサーバのデータベースを更新し、日時処理等特別な処理を必要としないこと		
	25	各種統計結果は、PDF 形式及び EXCEL (CSV) 形式での出力が可能なこと		
	26	集計結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること		
	27	統計情報（分類別蔵書冊数（類目別、一般書/児童書別）、利用状況（一般/児童別の登録者数、延べ利用者数、地区別登録者数）、年度の資料貸出点数（一般書/児童書別、月別））を出力できること		
	28	利用（貸出・返却・予約）統計表は、日報（時間帯別）・月報（日別）・年報（月別）に出力できること		
レシートプリンタ	29	貸出期限票、予約者連絡票、回送指示票等のレシートを任意の専用プリンタにより出力できること		
	30	レシートの出力項目等を端末ごとに設定できること		
帳票	31	帳票システムとして、本図書館の仕様に合わせた背ラベル、バーコード等の印字が可能なこと		
	32	本図書館の仕様に合わせた資料番号バーコードをラベル形式で印刷できること		
	33	本図書館の仕様に合わせた利用者バーコードをラベル形式で印刷できること		

	34	必要な帳票内容は、PDF 形式及び EXCEL (CSV) 出力に対応できること		
利用者カード	35	バーコードを印刷した利用者カードが利用可能なこと		
	36	スマートフォンの画面に表示された利用者番号バーコードが利用可能なこと		
	37	リライトカードを利用した利用者カードが利用可能なこと		
セキュリティ	38	インターネットに公開する Web サーバには利用者情報等の個人情報を持たせないよう業務サーバとデータベースを分けること		
	39	ID とパスワードにより利用認証を行うこと (利用権限の付与)		
操作ログ	40	処理の起動、検索・データ抽出の実行、プリンタ出力の実行、テキスト出力の実行、データ更新の実行、パラメータの更新、システムコードの更新をログとして保存すること		
	41	保存したログは以下の条件を指定して抽出することができ、画面または帳票に出力することができること 抽出条件：処理日範囲、ログイン ID、処理区分、処理端末番号、プログラム ID、更新利用者番号範囲		
分館対応	42	各館での資料移送を明瞭に管理できるように①所蔵館（本籍館）②所在館（現在資料が処理された館）③行先館（回送等により、資料の移動予定先の館）等資料の状態が容易に管理・把握できること		
バーコード読取	43	通信速度 100Mbps を前提とした場合、貸出・返却時のバーコード読取の際のデータ応答が 1 秒以内に行えること		
インターネットからの検索	44	通信速度 100Mbps を前提とした場合、インターネット端末から資料検索の際の応答が 10 秒以内に行えること。(ヒット件数 100 件)		
システム連携	45	IC タグ及び IC 機器を使用した運用ができること		
	46	TRC の TOOLi と連携できること		

【カウンター業務】

カウンター業務全般

処理機能	項目	要求機能	回答	対応方法
画面表示	1	貸出・返却・検索等の画面は、常時 Windows 画面に表示でき、その切替えがマウス・キーボードにより可能なこと		
	2	画面構成は、誤動作を起こしにくく、疲れを感じにくい作りになっていること		
	3	主要業務（貸出、返却、資料検索、利用者検索）については、各画面の識別が容易にできるように工夫されていること 例) 複数画面を起動したとき、画面の一部の背景色を見れば、その画面がどの機能であるか識別できること		
	4	以下の一覧については、表示項目、位置、列幅を任意に設定できること また、1 明細に複数行を表示する設定も行えること ・貸出処理画面における貸出中資料の一覧 ・返却処理画面における返却済資料の一覧 ・返却処理画面における貸出中資料の一覧 ・利用者貸出一覧画面における貸出中資料の一覧 ・利用者予約一覧画面における予約中資料の一覧 (1 利用者に対する予約タイトルの一覧) ・利用者検索における、検索結果利用者情報の一覧 ・資料検索における検索結果書誌情報の一覧 ・資料検索におけるローカル情報の一覧		
コメント	5	利用者に対して、複数のコメント通知機能を持ち、忘れ物・落とし物・その他の案内等を定型文・自由文で随時入れられること		
	6	情報非表示設定時でも、ワンタッチで利用者詳細画面へ展開し、利用者氏名/資料名が確認できること		
	7	書誌・資料に対して、複数のコメントを通知する機能を持っていること (付録、汚破損状況等を定型文・自由文で随時入れられること)		
	8	書誌情報・資料情報及び利用者情報に付加するコメント (定型文、自由文) の数に制限がないこと		
	9	コメントの注意音は、貸出時のみ・返却時のみのようにコントロールできること		
	10	書誌の定型コメントに重要度 (大・中・通常) を設定でき、重要度ごとに文字色・背景色が設定できること		
	11	資料の定型コメントに重要度 (大・中・通常) を設定でき、重要度ごとに文字色・背景色が設定できること		
	12	利用者の定型コメントに重要度 (大・中・通常) を設定でき、重要度ごとに文字色・背景色が設定できること		
	13	書誌情報・資料情報及び利用者情報に付加されたコメントごとに登録日と登録館が確認でき、さらに変更が可能なこと		

【カウンター業務】

貸出業務

処理機能	項目	要求機能	回答	対応方法
貸出手順	1	利用者のリライトカード及び資料の IC の読み込みのうえ、貸出実行の入力を行うことで貸出を確定すること		
	2	利用者番号のバーコード及び資料番号のバーコード読み込みで貸出を確定すること		
貸出処理	3	個人・団体・相互等、いずれの貸出処理も同一画面で行えること		
	4	当日中に貸出処理をした資料の貸出取消が統計に反映することなく行えること		

	5	未返却資料を貸出処理すると、自動的に返却処理すること また、チェック画面を表示させ返却後貸出を行う、返却のみ行う、処理を行わないについて、状況に応じて職員の判断により処理を行える設定もできること		
	6	不明資料を貸出処理すると、自動的に不明状態を解除し状態区分を貸出中に変更できること		
	7	資料種別（図書・雑誌・AV資料等）ごと、館ごと、利用者ごとの貸出日数、延期日数、延期回数、種別ごとの貸出点数、合計貸出点数が設定できること		
	8	貸出資料一覧から資料の返却と所蔵状態を不明状態（強制不明）への変更を同時にできること		
	9	予約していた資料を予約していた利用者に貸し出すと、予約データが消去されること また、予約していた利用者以外に貸し出したとき、予約データは維持されること		
	10	貸出処理時に表示される明細は自館に表示を限定することができること		
	11	利用者貸出一覧の画面にて、貸出館を「全館」「自館」を切り替えて表示できること。なお、初期値の値については、設定で変更できること		
	12	利用者貸出一覧の画面にて、貸出一覧の表示は「貸出館・返却期限順」「貸出館・貸出開始日順」の設定が可能なこと		
	13	相互貸借利用者に対して相互貸借資料を貸し出す際に貸出可能かのチェックが行えること		
	14	ICを使った貸出において、ICを読み込んだ際に、貸出が完了している資料が混ざっていた場合でも、エラーが出ることなく未貸出の資料のみ貸出ができること		
図書館カレンダー	15	図書館カレンダーの休館日を設定することで返却予定日を管理し、また貸出画面での随時変更も可能なこと		
	16	図書館カレンダーは館ごとに設定できること		
	17	カレンダーに設定する休館日は、貸出日数に含める休館日と含めない休館日が設定できること		
貸出期間設定	18	各館ごとに貸出期限を設定できること		
	19	貸出画面から任意に利用期間延長を行え、貸出期限票の印刷を行えること		
	20	貸出中資料の貸出期間延長・継続を任意に設定できること。（ただし、予約資料・相互貸借資料は自動的にチェックし、延期の可否を判断でき、設定によっては延長不可とすることもできること）		
	21	貸出期間の変更が可能であり、その際にはキーボードからの入力のみならず貸出延長ボタンや、カレンダー画面表示からの選択の3種類が可能であり、入力の簡素化が実現されること（資料区分ごとに変更可能なこと）		
画面展開	22	貸出基本画面より貸出期限変更、利用者検索、貸出・予約一覧、利用者詳細情報へ展開できること		
	23	バーコードの読み込みにより、貸出画面／返却画面の切換え、及び貸出・返却処理画面の起動が可能なこと		
	24	利用者氏名、電話番号、住所、生年月日、状態区分等から利用者を検索した上で貸出処理へ展開できること		
	25	貸出資料の明細をダブルクリックすることにより、資料データの詳細情報（書誌詳細、ローカル情報一覧）の表示ができること		
	26	貸出一覧から継続貸出、強制返却、貸出取消、期限変更、紛失登録等の処理が可能なこと		
紛失登録管理	27	紛失登録時から、任意の貸出状態を選択し、紛失日、メモを管理し、紛失資料の管理を行えること		
	28	紛失登録した資料を督促対象から除くことができること		
	29	紛失した資料情報、利用者情報の帳票が用意されていること 帳票の出力項目には、発行日、発行館、タイトル名、人名、出版者、出版年、分類、価格、ISBN、資料番号、所蔵館を印刷し、利用者に渡すことができるように、切り取り線も併せて印刷できること		
	30	紛失登録画面から、除籍予定入力が可能であり、除籍予定入力日、除籍事由区分の入力が可能なこと		
	表示情報のクリア	31	個人情報保護の観点から、画面上に「表示クリア」ボタンを配置し、随時押すことにより表示情報クリアができること	
32		個人情報保護の観点から、貸出し処理が終わった時点でその利用者への情報は全て画面からクリアされること（処理をしない一定の時間（設定可能）が過ぎると表示情報が自動的にクリアされること）		
画面構成・表示	33	画面上部又は下部にキーボードのファンクションキー配列と同じボタンを配置し、任意の処理画面を展開できること（利用者番号読み込み時の割当ても設定できること）		
	34	利用者番号を読み込んだ時点で、利用者区分、資料種別ごとの返却期限及び既貸出資料数、延滞資料数、延滞資料（他予約あり）数、督促資料数、予約数、確保済み予約数を表示すること		
	35	既貸出資料（全資料、延滞資料、督促資料）の表示／非表示及び色設定（文字色、背景色）の設定が可能なこと		
	36	読み込んだ資料の表示パターンを変更でき、また表示する項目（資料番号、資料名、貸出期限等）についても、項目や表示幅等が変更できること		
	37	貸出資料一覧表示時、資料種別が表示され、何を何点借りているか確認できること		
	38	利用者氏名の表示／非表示を端末ごとに予め設定でき、非表示設定時でも、利用者詳細情報画面に展開することで利用者氏名を確認できること		
	39	貸出した資料名の表示／非表示を予め設定でき、たとえ非表示設定時でも、貸出情報参照により資料名を確認できること		
	40	利用者番号読み込み時には氏名を表示し、資料番号を入力すると表示していた氏名を隠すこともできること		
	41	貸出画面から利用者の予約一覧画面を開き、予約状況の確認、予約取消が行えること。また、グループ予約、セット予約内容の確認、修正も行えること		

	42	利用者の予約一覧画面では、割当済みの予約と未割当の予約の色を任意に設定できること また、未割当の予約については、「自館貸出可」「返却待ち」「発注中」等の状態も色識別表示できること		
	43	貸出処理画面で、利用者の貸出中資料・予約中資料の一覧をワンタッチで表示できること		
	44	画面上に当日の貸出状況（点数・利用人数）をリアルタイムに準じて表示できること（表示する情報は、①その端末での状況、②その図書館での状況、③全館での状況とすること）		
	45	利用者の貸出状況一覧表示における延滞等の資料状態を色別表示できること		
	46	貸出処理時は、操作員が利用者番号読み込みと、資料番号読み込みとを見間違ふことのないよう、初期表示に入力可能なのは利用者番号フィールドのみとすること。また、利用者番号と資料番号は入力するフィールドの場所が変更になること		
レシート印刷	47	貸出処理後、利用者氏名・連絡先・貸出資料・返却予定日・予約待人数・自由文等（端末ごとに任意に設定可能）をレシートプリンタにより印刷できること		
	48	貸出明細印刷時に、延滞貸出資料、予約延滞貸出資料、督促貸出資料、予約有り資料、延長済み資料に対して、先頭に特定文字を印刷することができること また、延滞貸出資料と督促貸出資料等、重複した貸出資料の場合、どちらの特定文字を印字するか優先順位を設定できること		
	49	貸出明細は資料名、資料番号の両方を印字できること		
	50	バーコードデータを印刷できること		
	51	貸出レシートは再出力が可能であること		
	52	レシートに出力する内容は、通常のプリンタへの出力も可能であること		
	53	利用者区分ごとに返却期限票の出力形式をレシート形式、またはページプリンタ形式に設定できること		
操作員通知	54	バーコード入力時にそれ以外のフィールドが操作対象としてフォーカスされている場合に、バーコード読み込み時に分かりやすい警告音を鳴らせること		
	55	通知はアラーム音や音声で通知され、端末ごとに設定できること		
	56	貸出画面では各種の必要事項を確認する必要がある等の業務の性質上、必ずサブウィンドウで表示し、確認漏れのないようにすること		
	57	延滞資料有り・貸出点数オーバー・督促利用者・予約有利用者・除籍利用者・コメント有り等を自動的に音やメッセージで操作員に通知できること。その際、ウィンドウによる通知も任意に行えること		
	58	コメント付き資料、除籍資料・不明資料・予約資料・持出禁止資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで職員に通知できること。 その際、ウィンドウによる通知も任意に行えること		
利用者カード	59	バーコードを印刷した利用者カードが利用可能なこと		
	60	リライトカードを利用した利用者カードの利用が可能なこと		
	61	利用者カードのバーコードを、ページプリンタに印刷できること		
オフライン対応	62	ネットワーク等の障害発生時にはオフラインによる貸出処理ができること		
その他	63	利用者に対するコメントチェックの際に、表示するコメントによっては、毎回チェックしなくても良い設定が可能なこと		

【カウンター業務】

返却業務

処理機能	項目	要求機能	回答	対応方法
返却手順	1	返却する資料の IC を読み込みのうえ、返却実行の入力を行うことで返却を確定すること		
	2	返却する資料の資料番号のバーコードを読み込むことで返却を確定すること		
返却処理	3	不明・紛失資料の返却処理を行うと、自動的に無効を解除すること		
	4	返却画面貸出一覧から継続貸出、貸出取消、貸出延期、強制返却（不明処理）、一覧印刷の各処理ができること（返却期限票が任意に出せること）		
	5	家族連携登録をした利用者について、ワンタッチで家族の未返却資料一覧が表示できること		
	6	返却資料一覧表示時、貸出中資料が表示されること		
	7	返却手続きの際に、返却資料の保管場所情報を、処理端末の場所名に変更するか否かを資料種別ごとに設定できること		
	8	返却資料の除籍状態区分が除籍予定である場合、返却資料の除籍状態を自動的に通常に戻すか否かを設定が可能なこと		
	9	返却手続きにおける関連利用者へのチェックにおいて、返却利用者と返却利用者の家族連携利用者を対象にするか否かを設定できること ただし家族については、予め設定した家族連携利用者に限定することが可能なこと		
	10	返却時に予約資料を識別することができること		
画面展開	11	資料詳細確認・修正処理に移行ができること（複本情報に対しても同じ処理が可能なこと）		
	12	返却画面から貸出画面への展開は、利用者番号を読み込むだけででき、また、バーコードリーダーによる画面切替えもできること		
表示情報のクリア	13	個人情報保護の観点から、処理をしない一定の時間（設定可能）が過ぎると表示情報のクリアができること（「表示クリア」ボタンを配置すること）		
	14	「表示クリア」ボタンを押した場合、設定により実行確認画面を表示し、「はい」「いいえ」の選択が可能なこと		

画面構成・表示	15	個人情報保護のため、返却第一画面では利用者名は表示しないこと（利用者番号表示、また当該利用者の未返却資料数及び延滞数（うち予約有り数）の表示を端末ごとに設定できること）		
	16	読み込んだ資料の表示パターンを変更でき、またその情報（資料番号・資料名・返却期限等）についても、表示する項目や表示幅等が変更できること		
	17	返却資料の保管場所・受入形態・更新後資料状態区分ごとに適用する背景色、文字色の設定が可能なこと		
	18	返却資料の選択、読み込みにより返却者の詳細が確認でき、更に貸出・予約一覧を参照できること		
	19	画面上部又は下部にキーボードのファンクションキー配列と同じボタンを配置し、任意の処理画面へ画面展開できること（資料詳細、貸出情報等の参照機能も割当てられること）		
	20	返却画面で、画面を切り替えることなく、資料を返却した利用者の未返却資料一覧を表示できること		
	21	返却資料一覧から継続貸出、貸出取消、貸出延期、強制返却（不明処理）、一覧印刷の各処理ができること（返却期限票が任意に出せること）		
	22	未返却資料の延滞・長期延滞・督促情報は色別（文字色・背景色）による表示が可能なこと		
	23	画面上に当日の返却点数をリアルタイムに準じて表示できること（表示する情報は、①その端末での状況、②その図書館での状況、③全館での状況とする）		
	24	貸出資料一覧表示時、資料種別が表示されること さらに未返却資料の延滞・長期延滞・督促情報は色別（文字色・背景色）による表示が可能なこと		
操作員通知	25	通知はアラーム音・音声でも行え、端末ごとに設定できること		
	26	確実に返却されなかった場合には、エラー音で通知できること		
	27	返却した利用者に関する予約割当て、コメント情報のチェックがかけられること		
	28	コメント付き資料・除籍資料・不明資料・借り受け資料・予約資料・未貸出資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで職員に通知できること		
返却者確認	29	資料を借りていた過去数名分の利用者の貸出状況を一覧表示で確認できること		
	30	返却した資料は返却した時点で、貸出履歴を削除できること（以下の例外を除く）		
	31	返却された資料番号から、①当日中に限り②前々回利用者までに限りと運用に制限をつけ、返却者が確認できること		
	32	返却者確認画面では、返却資料タイトル・返却日時・返却館・返却利用者番号・返却利用者名・返却利用者電話番号が表示できること		
	33	返却者確認画面の表示内容を返却資料タイトル・返却利用者番号に制限することができること		
オフライン対応	34	ネットワーク等の障害発生時にはオフラインによる返却処理ができること		
その他	35	返却資料の明細をダブルクリックすることにより、資料データの詳細情報（書誌詳細、ローカル情報一覧）が表示できること		
	36	利用者を特定することにより、当日の返却済み資料を確認できること		
分館対応	37	所蔵館と返却処理をした処理館が異なる場合チェックし、画面にチェック画面を表示するか、表示しないか選択可能なこと		
	38	他館所蔵の資料が返却された場合、所蔵館と処理館が異なる場合に ①所蔵館への回送するために、状態区分を回送中とし、行先館を管理できること ②所在館を処理館に変更すること ③所蔵館は変更せず、所在館のみ変更することが可能なこと		
	39	他館所蔵から回送された資料の受入処理を返却処理バーコードスキャンのみで行えることができ、受入時に予約等の各種チェックを実施すること		
予約対応	40	予約されていた資料が返却され、受渡館が返却処理をした館の場合、当該資料が予約割当て中の状態になること		
	41	返却された資料が他館受渡し資料の場合、回送処理を実施し、本の状態を自動的に予約回送中にすること		
	42	予約割当て中の資料を再度返却しても、割当て対象の利用者は変わらないこと		
レシート印刷	43	予約されていた資料の返却時に、予約割当て対象利用者の情報を自動的に印刷できること（分館・閉架回送指示票、相互貸借資料返却指示票等の出力もできること）		
	44	予約割当て通知票に利用者番号のバーコードが出力できること		
	45	予約割当て票には、利用者コメントを印字できること また事前設定により、不要な特定コメントの印字を抑制できること		
	46	他館所蔵の資料が返却された場合、所蔵館が異なることを通知し、所蔵館への回送指示票を印刷できること		
	47	予約受渡し館として他館を設定している資料が返却された場合、予約回送を通知し、予約回送指示票を印刷できること		
	48	予約割当て票、予約回送指示票に印字可能な氏名について、印字部分の一部を「*」等でマスクし秘匿化することが可能であること		
	49	予約割当てレシートの再出力が可能であること		

【カウンター業務】

資料検索業務

処理機能	項目	要求機能	回答	対応方法
検索速度	1	300件ヒットを5秒程度で検索できる処理能力であること。		
検索方法	2	資料名・著者名・出版者・ISBN・分類・MARC番号・内容細目・受賞情報等のMARCデータを有効に活用した検索及び、タイトルコード、NDC分類・請求記号・別置記号・請求分類・資料番号・発注番号・新刊案内号数（TRC週刊新刊全点案内）を検索項目にできること		

	3	資料区分の複数選択による横断検索ができること		
	4	所蔵の有無、発注中資料の混在検索ができること		
	5	論理演算子 (AND、OR、NOT) を使用し、複数項目間の複合検索が行えること (5 項目以上の複合検索に対応すること)		
	6	項目により前方/後方一致、完全一致、中間一致で検索が行えること		
	7	各種検索キーをカナ・漢字・アルファベットの全半角・大文字小文字両方で同じ検索が行えること (同音異語でも検索でき、清音規則は任意に設定できること)		
	8	検索中断キーを有するほか、中断件数を設定できること (少ない文字数での検索の際、完全一致検索にするかどうか設定できること)		
	9	検索結果が多い場合、全件表示有無の確認により、全件表示/中断時点までの件数表示と、どちらでも一覧に表示できること		
	10	資料名・著者名・件名・内容細目等、項目を選択しない形の「全文検索」が行えること		
	11	「全文検索」では 複数の検索語をスペースで区切ることにより、「すべてを含む」又は「いずれかを含む」といった掛け合わせができること		
	12	「全文検索」で検索する際、「含めるキーワード」だけでなく「含めないキーワード」を指定することができること 例:「京都」を含み「東京都」を含めない		
	13	全文検索と通常検索 (前方一致等) は同一画面で行え、全文検索の条件と通常検索の条件との掛け合わせもできること		
	14	請求記号等の所蔵 (ローカル情報) 項目を一次キーとして検索できること (書誌項目との複合検索が行えること)		
	15	検索対象の絞り込み条件が設定できること (基本的なこと (資料種別・保管場所・所在館・状態区分等) は第一画面で設定、検索でき、リストアップができること)		
	16	種別、所蔵館、保管場所、所在館、状態区分、受入区分、予算区分、除籍状態、貸出開始日の検索及びリストアップができること		
	17	資料詳細情報確認画面から、書名、著者、出版者のリンク表示を行い、各項目をクリックすることで、選択項目を検索条件とした検索処理を実行することができること		
	18	本に印刷されている ISBN バーコードを読み取って検索できること		
	19	検索時には完全一致とならないように設定が可能なこと		
印刷	20	検索した一覧をページプリンタ又はレシートプリンタに印字可能なこと		
	21	検索した一覧を紙に出力する以外に、EXCEL (CSV) 及び PDF 形式に出力可能なこと		
	22	レシートプリンタに印刷する際には、指定した明細から件数を指定した一覧印刷が可能なこと		
絞込条件	23	ローカル項目 (資料種別、所蔵館、保管場所、所在館、状態区分、受入形態区分、貸出区分、受入先、予算区分、購入区分、媒体区分、利用対象、流通区分、刊行形態) の組み合わせを絞り込み条件として選択可能であり、任意に絞込みのパターンとして上記区分の組み合わせを保持できること		
典拠検索	24	内部で管理している典拠番号により、同名異人特定検索、ペンネーム等の別名の自動検索ができること (その関連を一覧画面で確認できること)		
	25	画面から典拠対象の追加・修正・削除が行えること		
	26	人名典拠ファイルからの一括登録も可能なこと		
再検索	27	検索条件を自動的に保存 (保存件数は任意に設定できること) し、後から再検索できること		
	28	目録画面にて、目録の次の項目から再検索ができること ・書名 (書名/版書名/シリーズ名等)、著者、出版者 ・標目 (タイトル、著者、件名)		
	29	再検索の際に、巻号情報を含めずに検索可能なこと		
画面展開	30	検索を実行した結果、該当件数が一定の件数以下の場合、一覧画面に自動的に遷移できること。また、その件数は任意に設定できること		
	31	検索結果一覧画面から複本 (ローカル) 一覧画面、発注画面・目録画面・予約画面・資料詳細画面へ展開できること		
	32	複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで利用者詳細画面へ展開し、利用者氏名、電話番号等が確認できること		
	33	複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで貸出一覧、予約一覧画面へ展開し、貸出中資料、予約中タイトルの確認できること		
	34	複本一覧は開架場所に保管されている資料を優先して上位に表示できること		
	35	書誌一覧画面、もしくは、複本一覧画面から、書誌登録、所蔵登録、予約・発注処理の各画面に展開できること		
	36	検索結果一覧画面で明細行をダブルクリックすることにより、予め設定された画面 (複本一覧・目録表示・予約一覧・発注一覧・資料詳細) に展開できること		
	37	検索結果一覧画面から、MARC タグ単位の書誌情報一覧画面に遷移できること		
	38	複本一覧画面にて、以下の項目の日時を秒単位まで表示できること 最終利用日/資料確認日/最終更新日/初回不明確認日/最終不明確認日/不明本発見日/除籍予定処理日/除籍処理日/貸出日/督促日/督促連絡日/前回貸出日/前回返却日/前回継続貸出日		
画面構成・表示	39	検索結果を随時保存 (件数は任意に設定) し、選択することにより最新の検索結果を表示すること (同一館内であれば他の端末でも保存した結果を利用できること)		
	40	特定書誌の資料の所蔵資料・未所蔵資料・発注中資料等の状態が検索結果から把握できること		
	41	書誌の詳細情報を目録カード形式で表示できること (目録表示は目録カードと同じく、全てのデータをカード形式で表示すること)		
	42	検索結果の書誌一覧内に代表サブタイトルを表示できること また、選択中の書誌に対応する全サブタイトルを一覧外に表示できること		

	43	検索結果から所蔵状態（不明資料・除籍・貸出中等）の把握・修正が行えること		
	44	検索結果一覧画面より検索結果一覧の印刷が行えること		
	45	検索結果一覧画面は登録順（最新が上）を常態とし、書名順・著者名順・分類順（任意に設定可能なこと）に並び替えること		
	46	並び替えは、検索結果一覧画面から他画面に展開した後、再度検索結果一覧画面に戻ってきても、変更した並び替えのままであること		
	47	検索結果一覧で現在貸出可能、貸出中、他館貸出可能、所蔵なし資料等を背景色又は文字色で色分けして表示できること		
	48	検索結果として表示する項目は任意に設定できること		
TOOLi 連携	49	図書館所蔵情報と同時に未所蔵資料の検索を TOOLi サーバと連携して実施できること		
	50	書名、著者名、件名等を AND、OR 検索できること		
	51	フリーワード検索と条件指定検索（書名・著者名・件名等）とを掛け合わせた検索ができること		
	52	検索結果のタイトル一覧を所蔵データと色を変えて表示できること		
	53	検索結果の詳細情報の表示が行えること		
	54	詳細情報からデータのダウンロードを行い図書館データベースに取り込むことが可能なこと		

【カウンター業務】

利用者登録業務

処理機能	項目	要求機能	回答	対応方法
住所入力	1	住所ファイルを有し、住所コードにより住所登録できること（住所コードの入力又は選択により、住所・郵便番号が自動的に入力されること）		
	2	郵便番号入力確定時、住所ファイルから該当する住所コードを参照し、自動表示できること		
	3	住所コードの入力簡易ツールとして住所コード名（カナ）もしくは郵便番号を入力すると該当住所コード一覧が表示し、簡易にコード入力可能なこと		
	4	広域地域の住所コード・地区コードが入っていて、利用者登録時に利用できること		
	5	日本郵便提供の郵便番号データを利用して郵便番号入力時に住所表記の自動表示をすることができること		
	6	郵便番号データはあらかじめ設定したスケジュールで自動的にダウンロードすること		
電話番号	7	複数の電話番号及び連絡先を登録できること（この時、「保護者」「通勤先」等と別枠で入力でき、表示されること）		
	8	利用者の登録、既存利用者の登録情報の修正、登録利用者の除籍、利用者カード紛失時等の再発行処理を行えること		
登録処理	9	家族の 2 人目を登録すると、以降は電話番号入力後ワンタッチで利用者データを複写し、氏名・生年月日・性別等を直すだけで次々に登録することができること（前入力データのコピー機能を有すること）		
	10	利用者の検索機能を有すること		
	11	登録（修正）処理した利用者の履歴を参照することができ、次利用者の登録・修正処理にそのデータを活用できること		
	12	利用者を修正する場合、同じ電話番号や住所を持つ利用者、又は家族連携した利用者の情報も一括で修正できること		
	13	生年月日を西暦でも和暦でも登録できること。また、西暦で登録した場合、次回利用者情報を読み込み時は、登録したときと同じ形式（和暦、西暦）で表示されること		
	14	利用者名入力時に、自動カナ振り機能を有すること（漢字のローマ字入力に基づいて振れること）		
再発行	15	図書館利用データ（貸出状況等）を引き継いでの利用者カードの再発行・番号置換ができること		
有効期限	16	利用者の有効期限の管理を行うことができること、なお、貸出・返却画面にて、有効期限切れ前の事前チェックが可能なこと		
二重登録チェック	17	利用者氏名カナ、生年月日で二重登録利用者のチェックを自動的に行えること		
	18	二重登録のチェックは、登録時以外に、利用者状態区分変更時にもチェックを行うこと		
パスワード登録	19	利用者のメールアドレスやパスワード情報の登録ができ、Web 情報の提供・利用者端末等での貸出・予約のシステムと連動できること		
	20	E-Mail は複数登録できること。また、予約確保時の連絡先、督促の連絡先として、どの E-Mail でも指定できること		
	21	パスワード入力画面にてパスワードを表示するか、非表示とするか選択可能なこと		
	22	パスワードの非表示の際に職員のみ確認ができるように、パスワード入力により表示する機能を用意していること		
	23	ランダムなパスワードを発行できる仮パスワード機能を有すること ただし、桁数等の基本情報を設定することができること		
	24	利用者登録画面上でパスワードの閲覧・参照・編集ができないようにそれぞれ制限をかけることができること		
コメント管理	25	利用者のチェック機能として定型コメントの選択とフリーな文字を入力できること		
	26	利用者情報に付加するコメントの表示順を設定できること		
	27	利用者情報に付加するコメントごとに登録日と登録館を登録でき、さらに変更が可能なこと		

	28	利用者コメントの種類により、利用者バーコードスキャン時に ①毎回表示するコメント ②表示後消去するコメント ③チェックしないコメント の選択が可能なこと		
管理情報	29	管理項目として、データ登録館、カード発行日、貸出形態区分、状態区分、除籍日、再発行回数、最終利用日の管理を行えること		
	30	利用者ごとの過去10年分の利用実績（貸出数、利用回数）を参照できること		
	31	利用者情報の更新履歴（処理日時・処理端末・更新対象・更新前内容・更新後内容・操作者）が確認できること		
	32	利用者詳細情報画面を表示する際に、利用者の個人情報を非表示状態で画面表示でき、また非表示／表示がワンタッチで切替できること		
その他	33	年齢は生年月日から自動計算し表示すること（年次処理等は不要であること）		
	34	利用者カードの有効期限は自由に設定できること		
	35	利用者カードの有効期限を更新する際は、更新を行った日及び有効期限日のいずれの日付でも基準として起算できること		

【カウンター業務】

予約リクエスト業務

処理機能	項目	要求機能	回答	対応方法
予約処理	1	予約資料の現在の状態（利用可能、予約中等）の管理が行えること（貸出予定日を表示できること）		
	2	利用者単位の予約上限数を設定し、新規予約登録時に上限追加する場合は確認画面を表示し、続行・中断が選択できること		
	3	利用者単位の予約上限数は、資料区分（図書、雑誌、AV）の任意の組み合わせにより設定できること		
	4	特定した予約（割当て済みを含む）を解除できること		
	5	割当て済みの予約の割当て状態を解除したとき、予約データを残すのか取り消すのか選択できること		
	6	割当て済みの予約の割当て状態を解除し、予約データを残すとき、予約順位を最下位にするか割当て待ちの最上位にするか設定できること		
	7	予約処理画面から利用者を検索し、利用者の設定ができること		
	8	受付館・受渡し館を設定することができ、貸出・返却業務とも完全連携が行えること		
	9	本人が借りている資料のタイトルには予約ができるようにもできないようにも設定が利用者区分ごとにできること		
	10	利用者が既に予約している資料を重複して予約することができるようにもできないようにも設定できること		
	11	資料一覧画面で複数の資料を選択し、連続・一括予約を行えること		
	12	グループ予約（複数資料に任意の予約数を割当てること）が可能で、課題図書等への予約管理が可能なこと		
	13	グループ予約で複数の課題図書等の特定資料に予約をしていても、任意の冊数を貸し出すと他の特定の資料の予約も自動的に削除されること		
	14	任意の予約を選択し、予約取消が行えること		
	15	予約取消を行う場合、「取り置き期限超過」等の予約取消理由を登録できること		
	16	取消した予約を確認することができること		
	17	取消した予約を復元することができること		
	18	予約の連絡について連絡済、未連絡を管理でき、連絡済から一定期間（任意設定可）貸出されない予約資料を抽出・割当て解除することで次の予約者が利用可能なこと		
	19	利用者番号と資料番号の入力による現物予約機能を有し、この場合でも複本管理予約ができること（予約棚にある資料を使い直接予約をかけられること）		
	20	複本がある場合、全ての複本に予約がかかり、どれか一冊が返却された時点で予約通知が行えること		
	21	相互貸借資料の予約にはチェック機能が働くこと（予約対象のタイトルが全て借り受け資料のときに注意メッセージが表示されること）		
	22	資料番号を入力し、特定資料に対して予約が可能なこと		
	23	特定資料に対して予約された資料は他の利用者に対して予約割当されないこと		
	24	特定資料に対して予約をした場合は、複本が返却されても予約割当されないこと		
	25	予約メモの入力ができること		
	26	予約メモは定型文や手入力、またはその両方の組み合わせができること		
	27	利用者情報等で定型文の予約メモを初期値として登録することができ、初期値登録されている利用者の予約時には、自動的に予約メモとして表示されること		
	28	予約メモ情報は、返却時に出力されるレシートに印字可能であること		
	29	資料予約入力画面及び利用者予約一覧画面に、「代表サブタイトル」を表示できること		
予約管理情報	30	予約処理の受付館、受渡し館の選択が可能なこと。また、窓口での予約受付館及び受渡し館は、当該予約の受付館を初期表示すること		
	31	予約した際の予約日時を管理することができること		

	32	予約順位は受付方法(窓口・館内 OPAC・WebOPAC)にかかわらず登録した順番にできること		
	33	予約順位の変更ができること。ただし、予約受付時間は変更されないこと		
	34	予約受付時間を変更しても、予約順位は変更されないこと		
	35	予約された資料の割当方法(返却待ち、借り受け待ち、発注待ち等)の情報を管理できること		
	36	受取り希望日の入力、管理が可能なこと		
	37	受取り希望日を過ぎた予約がある場合、貸出画面や返却画面でメッセージが表示され、利用者に確認ができること また、受取り希望日を過ぎた予約リストを出力し、予約の一括取消ができること		
	38	予約申込方法(来館予約、電話予約、OPAC 予約、Web 予約)の管理ができ、申込方法ごとの統計資料が出力可能なこと		
	39	資料の予約回送を無駄なく行うため、予約に対して各館で重複して資料を確保しないよう、予め設定した受渡し館ごとの優先順位を加味して自館に所在している予約割当対象資料のリストが出力されること		
予約連絡管理	40	予約リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・出力対象：全件、割当済のみ、未割当のみ、未所蔵資料のみ ・範囲指定：予約受付日、予約受取り希望日、資料区分、予約受付館、予約受渡し館、利用者区分、予約申込区分、予約状態 予約リストには ISBN 番号および利用者番号のバーコードを印字できること		
	41	予約連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、予約連絡済の入力の管理及びメールによる一括送信が可能であること ・抽出条件：利用者番号、予約割当日、予約受付日、受付館、受渡し館、電話番号、連絡方法(電話、E-Mail 等)		
予約制限	42	予約したタイトルに対して、割当対象館を特定館のみと指定することができること		
	43	予約したタイトルに対して、割当対象館を複数指定できること		
	44	特定資料に対して、期間を指定した予約受付制限を実施できること		
	45	予約割当制限にて、特定資料に対して予約割当を不可とする設定が可能なこと		
	46	予約割当を禁止したい(予約させたくない)資料を特定の別置/分類や保管場所で指定することができること		
	47	長期延滞資料(貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者が予約しようとした場合、メッセージを表示して予約できないようにできること また、職員判断により予約を受付ける設定にもできること		
予約上限	48	予約の上限設定に、申し込み方法(窓口/電話/OPAC/Web)及びタイトルの媒体区分ごとに予約の上限設定が可能なこと		
予約変更・取り消し	49	予約変更・取り消しの履歴を保存し、帳票に出力可能なこと		
画面展開・表示	50	返却や受入等により利用可能となった利用者を抽出し、予約連絡一覧を表示できること		
	51	検索結果から予約処理に展開することができること		
	52	予約者の予約・貸出状況(予約数・貸出数・督促数・延滞数)を予約受付画面に表示できること		
	53	予約者の一覧を、氏名をつけてワンタッチで出せること		
優先順位	54	基本的に予約した順で優先を決めるが、予約順位の変更が簡単な処理で可能なこと		

【カウンター業務】

相互貸借業務

処理機能	項目	要求機能	回答	対応方法
予定入力	1	他館からの相互貸借の予定を入力でき、相互貸借の依頼表を出力可能なこと		
受入処理	2	借受資料を自館資料登録と同様の操作で登録、修正が行えること(借受資料登録用の専用画面は持たないこと)		
	3	他館からの相互貸借の予定を検索し、該当する資料を特定し、受入処理して一般利用者に対する貸出ができること		
	4	どこの館から、どの資料を借りているか画面で表示できること(借り受け館へ返却済みか等の状態も表示できること)		
	5	借り受け資料の登録は、事前に借り受けの予定を入力していなくても、資料到着後に登録して受入処理ができること		
	6	借り受け予定入力の際には、タイトル、著者名、出版社、出版年月、ISBN、分類番号、資料番号、請求記号、借用館、借用予定日等が入力できること		
	7	借り受け予定の資料に予約がかけられること		
	借り受け先への返却期限	8	借り受け資料単位に借り受け先への返却期限を管理できること(一般利用者に対して貸出をする際に、他館資料の貸出期限と自館資料の貸出期限をチェックし、他館資料の貸出期限が短い場合や貸出期限が短い場合、貸出時に注意メッセージを表示できること)	
返却処理	9	他館資料を返却した際に、借りた履歴を残すためにタイトル情報を保存するかどうかを選択できること(次回再利用できること)		
	10	他館資料を返却した際に、誤って次の予約を登録している場合に、予約割当を抑制すること等により、相互貸借資料の再貸出を制限できること		
履歴	11	他館資料の借り受け状況を、タイトルや借り受け日等から検索でき、どこの図書館から借りたかの管理が可能なこと		
	12	借り受け資料の履歴を表示する際、借り受け期限切れ資料の確認が容易にできること		
統計処理	13	年報(相互貸借館ごと・分類ごとの貸出点数、借り受け点数)や実績一覧(借り受けタイトル・貸出タイトル)が印刷できること		

【資料管理業務】

書誌データ管理業務

処理機能	項目	要求機能	回答	対応方法
書誌データ管理	1	典拠データを利用して MARC データを登録できること		
	2	MARC の各種書誌情報（記事・内容等）を登録・修正することができ、検索対象とすることができること		
	3	日本図書館協会が販売している MRDF9(日本十進分類法新訂9版機械可読ファイル)を分類検索用データとして取り込むことができること		
	4	取り込みデータは NDC10 版対応とすること		
	5	書誌情報に定型コメントの選択とフリーな文字を入力できること		
	6	書誌情報に付加するコメントの表示順を設定できること		
	7	書誌情報に付加するコメントごとに登録日と登録館を登録でき、さらに変更が可能なこと		
	8	複本資料も、既登録資料の MARC データを利用して登録できること		
	9	JIS78 で入力された文字と JIS90 で入力された文字を同一視できること		
	10	TRCMARC (T タイプ) に対応すること（人名典拠・内容細目・学習件名等の各種サブファイルの登録・活用ができること）		
	11	TOOLi 等の MARC データを直接取り込んで書誌を登録できること。また、TOOLi のダウンロード機能を利用して、個々の書誌情報の登録が可能なこと		
	12	定期的に TOOLi サーバ上の MARC デリバリファイルを確認し、新規（未処理）の MARC データファイルが配信されている場合には、自動的にダウンロードを行い MARC 変換・展開処理を実行できること		
AV-MARC	13	各種 AV-MARC に対応していること		
	14	各種情報を可変長にして登録し、検索することができること		
	15	複数所蔵資料のデータ管理が行えること		
資料管理帳票	16	所蔵資料の資料区分・統計分類ごとに点数・金額を集計し、内訳表を出力できること		
	17	集計結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること		
	18	統計データを PDF 形式及び EXCEL (CSV) 形式での出力が可能なこと		

【資料管理業務】

ローカルデータ管理業務

処理機能	項目	要求機能	回答	対応方法
ローカルデータ管理	1	ローカル情報で「所蔵館」「所在館」等の詳細情報を管理して分館連携に対応できること		
	2	ローカル情報に定型コメント及びフリーコメントを入力できること		
	3	ローカル情報に付加するコメントの表示順を設定できること		
	4	ローカル情報に付加するコメントごとに登録日と登録館を登録でき、さらに変更が可能なこと		
	5	ローカル情報の資料バーコード読み込みによる連続変更及び条件の範囲指定による一括変更ができること（所蔵館・場所変更・禁帯区分等の付与/変更、コメントの付与等）		
	6	資料番号が登録されたテキストファイルの読み込みによるローカル情報の連続変更ができること（所蔵館・場所変更・禁帯区分等の付与/変更、コメントの付与等）		
	7	借り受け資料登録時は借り受け先が入力できること		
	8	資料の寄贈者情報の入力ができ、寄贈者単位での冊数確認および一覧表の印刷が可能なこと		
	9	複本のデータ管理が行えること		
	10	資料の除籍・復籍処理が連続で行えること		
	11	蔵書点検用携帯端末で読み込んだバーコード情報により、任意の複数の各区分の一括変更ができること		
	12	資料の新規登録時、資料種別がバーコード上の特定の桁位置の値から判別できる場合は自動的に表示すること		
	13	資料の新規登録時、資料種別が書誌情報の NDC 分類または別置から判別できる場合は自動的に表示すること		
	14	資料の新規登録時、請求記号を書誌情報の下記の項目をもとに初期値を表示できること NDC 分類、刊行形態区分、著者名カナ、書名カナ、巻冊記号、別置記号		
	15	資料に付与された定型コメントを抽出し、一括削除できること		
蔵書点検	16	一部の館が蔵書点検を行っている期間でも、他館は通常どおり開館できること		
	17	蔵書点検準備処理として、点検開始日・所蔵館・保管場所・資料種別・別置・分類を指定して、対象の資料を点検対象とする		
	18	蔵書点検準備処理で指定する組み合わせは、同時に複数設定できること		
	19	蔵書点検準備処理を複数設定する際は、条件の重複がないかチェックできること		
	20	蔵書点検準備処理で指定する組み合わせは、同時に複数設定できること設定された条件は、変更・削除が可能なこと		
	21	蔵書点検期間でも発注・受入ができること		
	22	蔵書点検の際、除籍・未登録・配架場所相違等のチェックリストを出力できること		

	23	蔵書点検の際、不明資料・未返却資料については、自動的に通常状態にし、返却処理を行えること		
	24	蔵書点検は蔵書点検用携帯端末、業務用クライアントで作業ができること		
	25	不明更新を行う前に不明候補資料の一覧を印刷できること		
	26	任意指定回数以上の不明資料を一括で除籍に変更できること		
	27	蔵書点検中に通常返却処理を実施することが可能であり、返却された資料は点検済みとなること		
その他	28	借り受け先別順の資料リストが出せること		
	29	弁償待ち資料の一覧が作成、印刷できること		
	30	資料情報更新結果印刷についてソート条件として請求記号を選択できること その際、資料種別+請求記号順にてソートできること		
	31	除籍資料リスト一覧画面、除籍予定リスト及び除籍リストに以下の情報が出力できること 全館の複本冊数/全館の利用可能冊数/最終利用日/通算貸出累計数/本年度貸出累計数		

【資料管理業務】
その他資料管理

処理機能	項目	要求機能	回答	対応方法
特集管理	1	特集毎に資料番号の読み取り、または、POT 等使用して出力した資料番号データを取り込むことにより、資料が登録できること また、登録済みの特集に資料番号の読み取りにより追加・削除ができること		
	2	特集へ登録した資料の所蔵館・保管場所を一括で変更できること。また、特集終了後は変更前の所蔵館・保管場所へ一括で戻せること		
	3	特集を一時停止できること 一時停止した場合、登録資料の所蔵館、保管場所が変更前の内容に一括で戻ること		
	4	一時停止した特集を復帰処理させることで、特集を再開できること 例) クリスマス特集を来年度も再利用できる		
	5	特集資料管理画面において、特集の状態、特集内容、登録資料数、開始日、終了予定日、所蔵館、保管場所を一覧表示できること		
	6	特集へ登録している資料の一覧を印刷できること		
	7	特集資料管理画面から、特集へ登録している資料の目録情報が参照できること		
	8	特集の開始・停止・再開・終了は自動で行われず、任意のタイミングにおいて手動で設定できること また、自動で停止/終了する運用も可能であること		
	9	複数の特集を同時に管理できること		
	10	1点の資料を複数の停止中の特集に登録できること		
	11	特集に資料を登録したとき、同一タイトルを他の特集に登録済みであるかチェックされること		
	12	現在有効になっている特集に登録済みの資料を他の特集に登録した場合、登録済みの特集名を表示でき、新規の特集に登録変更するか変更しないか選択できること		
	13	特集ごとに開始日/終了予定日に合わせて自動的に所蔵館、保管場所の変更を開始/停止する設定ができること 手動での動作に戻すこともできること		
	14	特集毎に年齢別の貸出冊数統計が出力できること		
	15	おすすめ等の外部公開蔵書データの作成に特集資料管理機能を利用できること		
雑誌管理	16	タイトル書誌一覧を表示することによりタイトルを特定し、タイトル/巻号の書誌連携が行えること		
	17	タイトルと巻号情報が分けて管理されること		
	18	各種データを可変長にて登録し、検索できること		
	19	最新号の登録時に直前号の巻号情報を初期表示できること		
	20	逐次刊行物（雑誌等）の欠号・増刊管理ができること		
	21	最新号受入登録時に、「通巻番号」の全号との比較で欠号チェックを行い、チェックメッセージを表示できること		
	22	逐次刊行物等の製本（合本）処理ができること また、製本された資料のタイトル情報は移行され資料検索できること		
	23	最新受入が「別冊」や「増刊号」の場合、最新号とは別扱いとし、「定期号」の最新号を貸出禁止の状態を保つことができること		
	24	雑誌タイトルごとに保存期間、開架期間、貸出禁止期間の設定ができること		
	25	雑誌タイトルごとに保存期間の設定ができること 保存期間には「永久保存」の設定もできること		
	26	雑誌のローカルデータで、開架から閉架に移動する期日を管理できること		
その他	27	貸出期限日・所蔵館・資料種別・除籍対象外貸出状態区分で特定した未返却資料を一括で除籍できること		
	28	タイトル情報登録画面にて人名情報・著述区分を変更した際に、責任表示欄に変更した内容が反映されること		
	29	未利用資料の一覧が印刷できること。また、最終貸出日及び最終確認日を出力できること		
	30	未返却資料一括除籍処理の検索結果一覧で、前回除籍実行した時の条件を保存し、初期値としてその条件を表示できること		

31	資料番号または ISBN 番号または MARC 番号が記載されたテキストファイルを読み込み、対象の書誌情報の一覧を画面表示や帳票出力できること		
----	---	--	--

【選書業務】

処理機能	項目	要求機能	回答	対応方法
選書管理	1	ISBN 番号から選書登録ができること		
	2	MARC を利用して選書登録ができること		
	3	TOOLi 連携時には、TOOLi を利用した MARC 番号入力により選書登録ができること		
	4	見計らい本等を使用して、選書候補となる資料を「選書登録」又は「一括選書登録」ができること		
	5	発注前の選書状態を管理するための状態区分があること		
	6	選書リストに出力されたバーコードを読み込み、発注の状態を変更できること		
	7	選書リストに出力されたバーコードを読み込み、選書取消ができること		
	8	選書登録した資料を一括で発注処理ができること		
	9	選書の一括発注時に選書保留状態の資料が発注対象にならないこと		
	10	選書登録画面で各館の選書状況が確認できること		
	11	選書の一括登録時、館ごとの注文数を指定して登録できること		
	12	登録した選書情報を選書リストに出力できること		
	13	選書リストに対象資料の集計金額を出力できること		
	14	選書リストに発注番号のバーコードを出力できること		
	15	選書リストに出力したバーコードを利用し、資料の選書状態/保留状態を変更できること		

【発注・受入管理業務】

処理機能	項目	要求機能	回答	対応方法
発注・受入確認	1	発注状況、受入状況が画面で確認できること		
	2	発注中の図書資料についても MARC で検索できること（発注中のステータスを画面上に表示できること）		
	3	発注図書にそのリクエスト者を（複数）入力できること		
	4	新刊 MARC を利用した発注が可能なこと		
	5	インターネットを利用した MARC データの受発注システム（TRC の TOOLi 等）に対応すること		
	6	同一タイトルに対する「二重発注」「既に所蔵済」のチェックし誤発注の抑止を可能とするため、発注点数および複本点数を表示すること（他に何点発注しているかあるいは他に何点所蔵しているか分かること）		
	7	新刊案内等に印刷されたバーコードを読み込むことにより、発注データの作成が可能なこと（1点ごとの確定を必要としないこと）		
	8	発注情報に定型コメントの選択とフリーな文字を入力できること		
	9	発注情報に付加するコメントの表示順を設定できること		
	10	発注情報に付加するコメントごとに登録日と登録館を登録でき、さらに変更が可能なこと		
	11	発注の取消が行えること		
	12	発注取消データから再発注ができること		
	13	発注する資料の MARC 番号、ISBN 番号を連続して入力することにより、一括発注ができること		
	14	TRC の発注データを作成できること（作成・抽出したデータは一覧形式で印刷できること）		
	15	新刊 MARC 一括登録時、「新刊急行ベル」等の資料は自動で発注データを作成できること（TRC の発注データは作成しない）		
	16	発注の取消ができ、取消した発注情報は履歴として残すことができること		
	17	TOOLi 一括発注画面を使用した TOOLi サーバへの直接発注時に、以下の発注種別を指定できること 通常発注/クイック発注/見計らい発注		
	18	TOOLi 連携時、発注一覧画面での「注文済」状態の発注情報に対し、以下の情報を出力できること TOOLi 進捗状況/TOOLi 受信方法/TOOLi 受信形態/TOOLi 受付日/TOOLi 入荷日/TOOLi 出荷日		
	19	MARC 番号発注での発注入力時に、TOOLi サーバを参照して発注するタイトルの在庫状況を表示できること		
受入処理	20	受入処理が終了した資料については、受入図書リストに出力できること（受入区分・受入日・資料種別順等でリストアップできること）		
	21	発注管理ファイルと受入管理ファイルのデータを定期的にマッチングさせて、未納入図書リストを書店ごとに出力できること		
	22	発注情報を参照しながら受入処理が行えること		
	23	資料の ISBN バーコードを読み取って書誌を特定して受入できること		
	24	各種 MARC データにより一括受入後、専用画面で検取処理が行えること（検取画面では、必要に応じてローカルデータの修正が行えること）		

	25	受入時に資料状態の初期値を任意に設定できること		
	26	受入後一定期間、新着資料として識別することができること		
	27	受入リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・抽出条件：所蔵館、資料種別、受入形態区分、受入先、予算区分、購入区分、資料状態区分、受入日、別置区分、資料番号、分類 ・ソート条件：館、種別、受入形態区分、受入先、予算区分、購入区分、資料状態、タイトル順、資料番号順		
	28	受入リスト印刷での帳票プレビュー・出力、およびテキスト出力にて、ISBN 番号を出力できること		
	29	雑誌受入リスト印刷で発行周期を出力できること		
新着資料印刷	30	新着資料案内を印刷できること		
予算管理	31	資料の受入先（書店等）が複数の場合でも予算管理ができること		
	32	発注時処理から予算の差し引き処理が自動連携できること		
	33	受入処理から予算の差し引き処理が自動連携できること		
	34	年度ごと・月ごとに予算額・発注額・受入額・予算残額・受入残額が管理できること		

【利用者管理業務】

処理機能	項目	要求機能	回答	対応方法
利用者検索	1	利用者氏名（カナ・漢字・アルファベット文字で、全半角混在でも可能）・電話番号・生年月日（西暦・和暦のどちらにも対応可能） ・利用者区分・E-Mail・利用者状態区分・利用者番号 ・連絡先名・連絡先電話番号・郵便番号・住所での検索処理が行えること		
	2	複数の項目に入力することにより AND 検索ができること		
	3	入力した検索条件に該当する利用者と、その利用者に対して事前に関連付けした家族利用者を同時に検索し、検索結果にまとめて表示できること		
	4	入力した検索条件に該当する利用者と、電話番号若しくは住所が一致する利用者を家族利用者として同時に検索し、検索結果にまとめて表示できること		
	5	検索中断件数を設定できること（検索中断キーにより任意に中断できること）		
	6	検索結果が多い場合、全件表示有無の確認により、続行／中断の選択ができること		
	7	検索結果画面は条件入力画面と同一画面で表示されること		
	8	利用者一覧にて表示できる項目の種類・幅・順番を任意に設定できること		
	9	利用者の詳細情報を表示できること（氏名・電話番号・生年月日・年齢・住所・最終利用日・督促累積回数・有効期限・貸出資料一覧・予約資料一覧・コメント等が確認できること）		
	10	検索された利用者を特定することにより、貸出中資料、予約中資料の確認、処理展開ができること		
	11	検索された利用者を特定し、その家族が検索できること（家族連携対象者及び電話番号一致利用者）		
	12	検索された利用者を選択し、選択した利用者の利用者番号を引継ぎ貸出処理へ展開ができること		
	13	デフォルトのカーソルの位置は、任意設定が可能なこと		
	14	入力した電話番号ですべての連絡先の電話番号を検索できること		
利用者抽出	15	団体利用者・相互貸借利用者ごとのリストが出せること		
	16	地区別に利用者集計を出力できること		
	17	抽出結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること		
	18	統計データを PDF 形式及び EXCEL (CSV) 形式での出力が可能なこと		
利用者処理	19	利用者一覧画面から選択した利用者の番号置換え・再発行・有効期限更新・利用状態区分一括変更・一覧印刷が可能なこと		
無効処理	20	最終利用日から一定期間（任意に設定可）を過ぎた利用者を実効（除籍）にできること		
督促・予約処理	21	貸出期限・貸出館・資料種別・利用区分・予約状況によって督促対象者の抽出・設定ができること		
	22	一定期間以上未返却の資料、又は返却予定日の範囲指定及び督促回数により、督促はがきを印刷できること（印刷する利用者を任意に選択できること）		
	23	督促対象資料中の予約資料のみを抽出し、督促対象設定・はがきの印刷が可能なこと		
	24	督促はがきの印刷は郵便番号順にソートが可能なこと		
	25	督促はがきの印刷実行時に、督促連絡回数を加算できること		
	26	返却予定日の範囲指定、督促回数、予約状況、借り受け資料、貸出館により、督促リストの印刷ができること（氏名や電話番号・住所・資料種順に打ち出せること）		
	27	督促状で保護者を設定している場合は保護者の印字もできること		
	28	督促状に資料名・資料番号のいずれを印字するか選べること		
	29	督促はがきにコメントを印刷できること		
	30	はがきに「料金後納郵便」を印字できること		
	31	督促状は A4 サイズのドライシーラ（単票）の用紙にも対応できること		
	32	督促状は封書（B5 サイズ）にも対応できること		

	33	督促状は秘匿感熱用紙（はがき）にも対応できること		
	34	予約連絡メール、督促連絡メールをシステムから送信できること また、あらかじめ送信時間、送信曜日、送信対象期間等を設定して自動で送信もできること		
紛失・弁償管理	35	貸出中資料を利用者が紛失した場合に、紛失中又は弁償中という状態を管理できること		
	36	紛失資料の一覧が印字できること		
督促連絡管理	37	督促リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・抽出条件：貸出期限、督促回数、貸出館、資料種別、利用者区分、貸出状態、予約受渡し館、連絡方法 ・上記督促リストは督促処理等のバッチ処理を不要とすること		
	38	督促連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、督促連絡済の入力を管理及びメールによる一括送信が可能なこと ・抽出条件：利用者番号、貸出期限日、督促日、督促回数、督促回数、貸出館、貸出状態、連絡方法（電話、E-Mail等）、連絡回数、連絡状態		
	39	督促連絡済の記録について、資料ごとの連絡回数と各連絡時の情報（連絡日、連絡方法、備考等コメント）、連絡状態の管理が可能なこと		
E-Mail機能	40	次の画面から対象の利用者に対しE-Mailの入力画面を開き、連絡用のメールを送信する機能を有すること 利用者貸出一覧画面、利用者予約一覧画面、利用者詳細画面		
	41	利用者の貸出一覧上で、連絡メールを送信したい貸出資料情報を選択し連絡できること		
	42	利用者の予約一覧上で、連絡メールを送信したい予約資料情報を選択し連絡できること		
	43	返却期限日が近づいている利用者に対して、返却期限日をお知らせするメールを送信できること		
	44	返却期限日を知らせるメールは、手動で対象者を抽出して送ることも、あらかじめ条件や処理サイクルを設定して自動で送ることもできること		
	45	返却期限日が過ぎていている利用者に対して、延滞を連絡するメールを送信できること		
	46	返却期限日超過を知らせるメールは、手動で対象者を抽出して送ることも、あらかじめ条件や処理サイクルを設定して自動で送ることもできること		
その他	47	利用者カードの有効期限を更新するとき、次のいずれの日付を基準として起算するか設定できること ・カードの更新を行った日から起算する ・カードの有効期限日から起算する ・カードの利用者の生年月日から起算する		
	48	利用者カードを再発行時に有効期限を更新するか否かを選択できること		

【OPAC機能】

処理機能	項目	要求機能	回答	対応方法
全般	1	タッチパネルディスプレイを利用したシステムであること		
検索	2	ひらがな、カタカナ、数字、特殊文字の文字入力が可能なこと		
	3	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することでAND/OR/NOTによる複合検索ができること		
	4	フリーワードによる検索時、資料番号の検索ができること		
	5	資料種別（図書・雑誌・AV（CD・ビデオ・DVD等））又は全資料より選択して検索できること		
	6	検索対象とする館を自館のみか全館か選択した上で検索できること		
	7	雑誌は雑誌タイトルごとに「スポーツ」等のジャンルが設定でき、ジャンル選択によるタイトル一覧が表示できること		
	8	雑誌のジャンルが設定でき、1つの雑誌タイトルに複数のジャンルを設定できること		
	9	タイトル・著者名（典拠データ参照）・キーワード等より選択して検索できること（一般書か児童書かで絞った後でも可能なこと）		
	10	50音表記から検索キーの入力ができること		
	11	検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること		
	12	検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること		
	13	検索結果が並べ替え（ソート）可能なこと		
	14	フリーキーワードによる中間一致検索が可能なこと		
	15	検索結果が複数ページにわたる場合、指定したページ（先頭ページ、最終ページ、ページ番号指定）に直接移動できること		
	16	特定保管場所の資料を検索対象外とすることができること		
	17	予め設定した任意の期間を超えて延滞している資料を検索の対象外にできること		
	18	館内OPACでキーボードを使用することなく、漢字検索を行うことができること		
	19	検索結果に雑誌の最新号があるとき、タイトル一覧画面で該当タイトルが最新号であることが一見して分かること		
画面構成・表示	20	大人用・子供用の画面を用意し、利用者が使いやすい機能であること		
	21	画面を触らない時間（任意設定）が一定を過ぎたら、お知らせ等の自動表示、もしくは初期画面に戻る		
	22	一覧表示形式は、タイトルごとに横形式に表示すること		

	23	配架場所を画像表示できること（複数の館に存在する場合、それぞれの場所を表示できること）		
	24	資料情報明細欄に表示させる項目・幅・見出しが自由に設定できること		
	25	除籍予定や不明資料等は表示されない設定にできること（状態区分により、任意に設定できること）		
	26	パラメータ管理により、タイトル詳細画面の内容紹介欄の表示を以下の3パターンに設定できること ・内容紹介を非表示にする ・内容紹介が複数あるとき、先頭の1件を表示する ・内容紹介が複数あるとき、紹介データごとに改行し、すべての内容紹介データを登録順に表示する		
予約	27	館内 OPAC から、利用者番号、パスワードの認証により、予約受付が可能なこと		
	28	貸出中資料に延滞資料がある利用者の予約受付を制限できること		
	29	予め設定された連絡方法が登録されていない利用者の予約受付を制限できること		
	30	自館に貸出可能資料があるときに、予約ボタンを表示する／しないを設定できること		
	31	他館に貸出可能資料があるときに、予約ボタンを表示する／しないを設定できること		
	32	複数もしくは単数のタイトルを1回の認証で予約ができること		
	33	タイトル一覧画面で予約ができないタイトルは、複数選択のボタンの選択ができないようになっていること		
	34	タイトル一覧画面で複数のタイトルを選択したとき、ページを移動しても選択したタイトルは記憶していること		
	35	予約受付時に、予約受渡し館、連絡方法、連絡メモを入力または省略可能なこと		
	36	予約受付時の、予約受渡館は利用者区分・利用者貸出区分の組み合わせごとに設定された受渡館を表示できること		
	37	連絡方法は利用者区分ごとに選択できる連絡方法を制御できること		
	38	予約後、予約割当前であれば受渡場所を利用者自身で変更できること		
	39	検索した資料が貸出中、もしくは他館にある場合は利用者用端末システムから予約をかけることができること（利用者番号とパスワードを入力すること）		
	40	館内 OPAC からの予約変更・取り消しの履歴は、職員の業務端末で抽出・印刷ができること		
利用状況照会	41	利用者が現在借りている資料が一覧で確認できること		
	42	利用者が現在借りている資料について延長処理ができること（利用者及び資料の状態が延長可能条件（予約が入っていない、借受資料ではない、借りている資料の中に延滞しているものがない等）を満たした場合に限る）		
	43	利用者が現在借りている資料一覧をレシート印刷できること		
	44	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一覧で確認できること		
	45	取消された予約資料が一覧で確認できること		
	46	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料を同じ画面で一覧表示するか別々の画面で表示するかをあらかじめ設定できること また、同じ画面で一覧表示する場合は予約確保されている資料が一覧の上に表示できること		
	47	利用者が予約中の資料について予約取消ができること		
	48	利用者が予約中のリクエスト資料については予約取消ができないようにすること		
	49	利用者が照会した予約一覧をレシート印刷できること		
	50	利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること		
	51	利用者認証時に、延滞資料が存在する利用者には延滞警告メッセージを表示できること		
利用情報登録・変更	52	利用者のパスワード及びメールアドレスの登録及び変更が可能なこと 登録時には利用者番号、氏名（カナ）、電話番号等で認証すること。		
	53	メールアドレスの変更時はメールアドレスフォーマットの確認をおこない、フォーマット不正の場合にはエラーメッセージが表示できること		
利用者機能	54	利用者認証は、利用者番号、パスワードにより可能とすること		
	55	利用者認証時に、利用停止・除籍予定の利用者のログインを制限できること		
	56	利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること		
	57	利用者認証時に、有効期限日を過ぎているもしくは期限日間近の利用者に対しメッセージを表示できること		
	58	利用者認証時に長期未利用者のログインを制限できること		
検索結果印刷	59	検索一覧の印字、資料詳細情報の印字が可能なこと（レシートプリンタ等）		
	60	一画面で、印刷ボタンは1回しか押せないようにできること（連打防止の機能を有すること）		
	61	自館所蔵資料がないときは印刷ボタンを表示しないようにできること		
	62	自館に利用可能資料がないときは印刷ボタンを表示しないようにできること		
	63	所蔵情報の明細は自館所蔵のみに限定できること		
	64	所蔵情報の明細は自館利用可能資料のみに限定できること		
レシート印刷	65	館内 OPAC から予約受付票をレシートに印刷できること		
	66	予約受付票には予約した利用者について以下の情報が出力できること 利用者バーコード／利用者番号／利用者漢字／利用者カナ／予約受渡し館／予約受渡し SP／予約連絡方法		

	67	予約受付票には予約した資料について以下の情報が出力できること 資料バーコード/資料番号/タイトル/著者/出版者/出版年/ページ数/価格/請求記号		
	68	予約状況レシートに以下の情報が出力できること 発行日/利用者番号/タイトル/予約日/受渡館/予約順位		
	69	レシートに印字する画像は複数登録でき、順番に印刷できること		
	70	印字期間を登録し、開始/終了の管理ができること		
お知らせ	71	催し物表示ができること		
	72	テーマごとに集めた資料や紹介したい資料を図書館からのおすすめ本として表示できること		
	73	案内お知らせ機能で、図書館カレンダー情報を館ごとにカレンダー形式で表示できること（システムと連動して自動的に表示できること）		
	74	新着資料・新刊資料・貸出ベスト資料・予約ベスト資料の表示機能があること（予め設定した条件・抽出サイクルにより自動作成されること）		
	75	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト資料・おすすめ本は一覧を表示するだけでなく、一覧をタッチすることにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること		
	76	現在（データ抽出処理時点）の予約件数が多いタイトルの一覧を表示する、予約ランキング一覧を表示できること		
	77	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・予約ランキングの各データはあらかじめ設定された条件および処理サイクルに従って自動作成されること このとき、業務端末は起動していなくてもよいこと		
	78	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・予約ランキングの各データは業務端末で手動作成することもできること		
統計処理	79	館内 OPAC のアクセス統計がとれること		
	80	館内 OPAC のページ別にアクセス統計をとることができること		
	81	館内 OPAC のアクセス統計は、期間指定により曜日、自館別の集計を行うことができること		
読書推進	82	読書推進機能として、期間と貸出数目標値をパラメータで指定、もしくは利用者が本人で設定し、達成状況を確認できる機能を用意すること		
	83	達成状況はグラフ等の視覚的な表示ができること		
	84	図書館が設定したイベントとして読書マラソン大会を開催できること		
	85	読書マラソン大会は利用者区分・地区コード・年齢によって参加対象を制限することができること		
	86	読書マラソン大会の利用者毎の状況をレシートに出力できること		

【Web 蔵書検索システム】

処理機能	項目	要求機能	回答	対応方法
全般	1	インターネット蔵書検索が可能なこと		
	2	Web サーバ上に公開データベースを持ち、検索ができること		
	3	携帯電話による蔵書検索が可能なこと（フリーワード検索、貸出ベスト・予約ベストの表示が可能なこと）		
	4	蔵書検索はパソコンだけでなく、スマートフォン・タブレットからも検索ができること		
	5	「JIS X 8341-3 : 2016」の AA に準拠し、読上げソフトに対応したデザインであること		
	6	画面幅 779px 以下で表示した場合、スマートフォンやタブレットでも見やすいように自動的にデザインが切り替わること		
検索	7	フリーワード検索は全文検索エンジンを採用していること		
	8	簡単な検索画面と詳細な検索条件を指定でき、画面の両方があること		
	9	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することにより AND/OR/NOT による複合検索ができること		
	10	資料種別（図書・雑誌・AV（CD・ビデオ・DVD 等））又は全資料より選択して検索できること		
	11	雑誌は雑誌タイトル毎に「スポーツ」等のジャンルが設定でき、ジャンル選択によるタイトル一覧が表示できること		
	12	雑誌のジャンルが設定でき、1つの雑誌タイトルに複数のジャンルを設定できること		
	13	資料名（3項目以上の複合検索が可能なこと）、人名（同左）による検索のほか、出版者・発行者・件名・NDC 分類・受賞名・ISBN・出版年月による範囲指定が可能なこと（フリーワード全文検索機能を有すること）		
	14	検索結果一覧は、資料イメージを中心としたカードモードと文字情報を中心としたシンプルモードで表示することができ、モードの切り替えを利用者自身が行えること またカードモード・シンプルモードの初期表示設定を利用者自身でできること		
	15	シンプルモードで表示する場合、検索結果一覧として、該当件数・現在頁数および全体頁数・項番・資料名・資料区分・人名・出版社・分類・出版年月を表示できること		
	16	カードモードで表示する場合、検索結果一覧として、該当件数・現在頁数および全体頁数・書影表示領域・資料名・資料区分・人名・出版社・分類・出版年月を表示できること		
	17	一覧表示数は1頁に10件を標準とし、25件・50件・100件と選択可能なこと		
	18	詳細表示として以下の項目を表示できること。書誌データとしては資料名・人名・出版社・出版年月・頁数・サイズ・価格・ISBN・分類・件名・注記・内容細目・内容紹介・著者紹介・利用対象等、ローカルデータとしては所在館・保管場所・種別・請求記号・資料番号・貸出区分等		

	19	書誌詳細画面は、図書館ホームページ等から該当資料の書誌詳細画面を直接開くことができること		
	20	検索条件入力画面、検索結果一覧画面でソート条件（タイトル、人名、出版者、分類順等）を選択することによって、検索結果を条件順（昇順・降順）に表示できること		
	21	検索対象とする館を選択した上で検索できること		
	22	検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること		
	23	検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること		
	24	資料データの状態（貸出状態、予約状態、資料状態）は業務サーバと連携し、リアルタイムに検索結果に反映されること		
	25	検索結果一覧、詳細画面で著者をクリックすることにより、選択した著者・叢書名で再検索できること		
	26	外部公開機能の新着リスト・新刊リスト・貸出ベスト・予約ベストの表示対象資料・期間を利用者が指定して表示ができること		
	27	フリーワード／キーワードの検索欄に入力した語句が2文字以上の場合、予測される検索語の候補を表示でき、その候補から資料検索ができること。		
	28	検索結果一覧画面で表示される書誌を、検索画面に戻ることなく指定の項目（資料区分・所蔵館・シリーズ・人名・日本十進分類・出版年・出版国等）で絞り込むことができること		
	29	タイトル詳細画面で表示中の書誌と著者・出版年・分類・件名・受賞名・シリーズ名・雑誌名で関連する書誌を関連資料として表示できること		
	30	資料詳細画面の複本一覧表示にて、資料種別、保管場所、所蔵館、所在館名称の表示文字数を任意に設定できること		
画面構成・表示	31	パラメータ管理により、タイトル詳細画面の内容紹介欄の表示を以下の3パターンに設定できること ・内容紹介を非表示にする ・内容紹介が複数あるとき、先頭の1件を表示する ・内容紹介が複数あるとき、紹介データごとに改行し、すべての内容紹介データを登録順に表示する		
	32	所蔵一覧から選択した資料に対する配架場所が画像表示できること（複数の館に存在する場合、それぞれの場所を表示できること）		
予約	33	予約システムを提供し図書館システムとシームレスな連携が可能なこと（予約データはリアルタイムに業務サーバに反映されること）		
	34	予約カート方式であること		
	35	予約上限チェック（Web+図書館基幹システム）が可能なこと		
	36	PC ブラウザ用画面にて利用者がログアウトした時やブラウザ画面を閉じた時にカート情報が削除されること。ただ、「カート登録はログインしないと使用できないもの」とした場合は、予約カート情報をサーバ側に保持できること		
	37	予約等の認証時に使用するパスワード保護対策として、一定回数連続で認証に失敗すると、設定された時間はログインを制限することができること		
	38	予約に際しては、利用者番号及び予め利用者に付与したパスワードによる認証を行うこと。予約受取り館の設定ができ、予約資料が準備できた際に、メールによる通知が可能であること		
	39	資料詳細画面で、予約ができない書誌の場合は「予約受付」ボタンを非表示とし、予約不可理由をメッセージで表示できること		
	40	資料詳細画面にて、雑誌の最新刊号は予約受付ボタンを非表示とし、最新刊のため予約できないことを通知するメッセージが表示できること		
	41	利用停止や除籍予定の利用者の予約受付を制限できること		
	42	貸出中資料に長期延滞資料がある利用者の予約受付を制限できること		
	43	あらかじめ設定された連絡方法が登録されていない利用者の予約受付を制限できること		
	44	予約受付時の、予約受渡館は利用者区分・利用者貸出形態区分の組み合わせごとに設定された受渡館を表示できること		
	45	予約後、受渡場所を利用者自身で変更できること		
	46	Web OPAC からの予約変更・取り消しの履歴は、職員の業務端末で抽出・印刷ができること		
お気に入り登録	47	資料詳細から、お気に入り資料の登録が可能なこと		
利用者登録	48	利用者自身が、WebOPAC から利用者登録が可能なこと		
	49	利用者自身が、WebOPAC から入力項目は、氏名（漢字）・氏名（カナ）・性別・生年月日・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレス・メールアドレス確認用などが入力できること		
	50	WebOPAC から利用者登録された場合、仮の利用者番号が自動採番され、仮の利用者番号の通知メールが利用者に送信されること この際、仮パスワードも同時に発行し送信するか設定が可能なこと		
	51	WebOPAC から利用者登録された利用者が来館後、仮利用者番号を提示することにより、窓口にて本登録用利用者番号への番号置換・有効期限の更新などが、継続して実施できること		
パスワード登録	52	Web OPAC から、新規にパスワード登録、申し込みが可能なこと		
	53	新規パスワード登録時に、既にパスワードを登録済みの利用者が、新規パスワードを登録できるが、登録できないかをシステムで選択できること		
	54	新規パスワード登録時に、年齢で登録を制限できること		
	55	新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名（カナ）、電話番号等で認証すること		
	56	新規パスワード登録時、氏名（カナ）を清音化してチェックできること 例）入力文字「ジュンコ、シュンゴ、シュンコ、シユンコ・・・」を清音「シユンコ」と見なす		
利用状況照会	57	利用者の貸出状況・予約状況という利用状況にあわせ、利用照会メニュー、図書館カレンダーや新着資料一覧などをまとめてポータル画面等で確認できること		

	58	利用者認証時に、延滞資料が存在する利用者に延滞警告メッセージを表示できること		
	59	利用者が現在借りている資料が一覧で確認できること		
	60	利用者が現在借りている資料について延長処理ができること (利用者及び資料の状態が延長可能条件(予約が入っていない、借受資料ではない、借りている資料の中に延滞しているものがない等)を満たした場合に限る)		
	61	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一覧で確認できること また、予約確保されている資料が一覧の上に表示できること		
	62	利用者が予約中の資料について予約取消ができること		
	63	発注中及び借受待ちの資料の予約は、取消ができないようにすること		
	64	利用照会の貸出状況表示画面において、返却期限を超過している明細に期限が超過していることを通知するアイコンとメッセージを表示できること		
	65	利用照会の予約確保資料一覧に引取期限日を表示できること		
	66	貸出・予約・予約確保の一覧画面にて、タイトルから1クリックで書誌詳細画面へ遷移できること		
	67	貸出中資料の延長は任意の1点又は複数冊を選択して行えること		
	68	お知らせ・貸出中一覧・予約中一覧(未確保/確保済み)・新着資料一覧・図書館カレンダーを同一画面上に表示でき、各表示領域は利用者自身が配置を変えて使うことができること		
	69	取消された予約資料が一覧で確認できること		
	70	利用照会画面に利用者番号のバーコード表示ができること		
雑誌一覧表示	71	雑誌の一覧表示機能があること		
	72	刊行頻度を表示可能であること		
	73	雑誌情報は、図書館で任意に修正可能であること		
	74	雑誌一覧から雑誌を選択することにより、その雑誌の所蔵一覧へ移り、さらに資料を選択することにより資料の詳細情報を表示し、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること		
	75	雑誌一覧から非表示とする雑誌タイトルを任意で設定できること		
利用者登録情報変更	76	E-Mail、パスワードの登録内容の変更が行えること。また、E-Mail 変更時は確認メールを送信することができること		
	77	メールアドレスの変更時はメールアドレスフォーマットの確認をおこない、フォーマット不正の場合にはエラーメッセージが表示できること		
	78	予約時の予約受渡館及び連絡方法の初期値を登録することができること		
	79	返却期限が近づいてきたことをお知らせするメールの受信選択が登録できること		
利用者機能	80	予約資料の選択はカート方式を採用し、複数冊を予約カートに登録し、1回の認証にて、複数冊の予約を行うことができること		
	81	予約カートは追加、削除を可能とすること		
	82	予約認証はカートに登録後、本予約実行時に、利用者番号、パスワードにより可能とすること		
	83	利用者認証は、利用者番号、パスワードにより可能とすること		
	84	利用者認証時に、利用停止・除籍予定の利用者のログインを制限できること		
	85	利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること		
	86	利用者認証時に、有効期限日を過ぎているもしくは期限日間近の利用者に対しメッセージを表示できること		
	87	利用者認証時に、長期未利用利用者のログインを制限できること		
	88	利用者認証時に、特定の利用者コメント(忘れ物があります、取り置き資料あり等)を通知できること		
お知らせ	89	催し物表示ができること		
	90	テーマ毎に集めた資料や紹介したい資料を図書館からのおすすめ本として表示できること		
	91	図書館カレンダー情報を館別にカレンダー形式で表示できること(業務システムに登録したカレンダーから抽出できること)		
	92	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・おすすめ本のリストが表示でき、一覧を選択することにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること		
	93	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベストはOPACのデータ作成時と同時に作成されること		
	94	お知らせ表示機能があること。図書館がデジタルカメラ等で撮影した画像を掲示可能であること		
	95	子ども向けのお知らせ・検索等の機能があること		
	96	Web OPAC、館内 OPAC に表示するお知らせの期間を任意に設定できること		
	97	現在(データ抽出処理時点)の予約件数が多いタイトルの一覧を表示する、予約ランキング一覧を表示できること		
統計処理	98	Web OPAC のアクセス統計がとれること		
	99	Web OPAC のページ別にアクセス統計をとることができること		
	100	アクセス統計は、端末種類(PC/タブレット/スマートフォン/モバイル)で分類して集計を行うことができること		
	101	アクセス統計は、期間指定により曜日、ページごとの集計を行うことができること		
外部サイト連携	102	外部サイトと連携し、書影が表示できること		

	103	書影サイトは選択が可能なこと		
	104	外部サイト連携は Google ブックス、Amazon、honto、紀伊国屋書店、楽天ブックス、7net、JUNKUDO、e-hon、ブグログ、メディアマーカー、カーリル、WebCatPlus、Amazon 書評、国立国会図書館のサイトの全ての会社に対応でき、リンクの表示/非表示はそれぞれ選択できること		
	105	外部サイトと連携し表示する書影は、利用者の操作で非表示にできること		
読書推進	106	利用者ポータル画面の利用照会メニューから任意の書誌を登録できる機能を有すること		
	107	貸出履歴の保存に同意する利用者のみ、貸出履歴を参照できること。また、貸出履歴の保存に同意するかどうかの画面を用意すること		
	108	利用者自身が任意で登録した資料の一覧を本棚のイメージで表示できること。		
	109	利用者自身が任意で登録した資料の書誌をページプリンタで印字できること。		
	110	利用者自身が任意で登録した資料のデータを CSV ファイルとして出力できること。		
	111	読書推進機能として、期間と貸出数目標値をパラメータで指定、もしくは利用者が本人で設定し、達成状況を確認できる機能を用意すること。また、達成状況はグラフ等の視覚的な表示ができること		

【帳票・統計】

処理機能	項目	要求機能	回答	対応方法
帳票全般	1	随時作成可能なこと		
	2	各種統計帳票については、対象となる統計帳票、抽出条件、実行サイクルを設定する等により、印刷データを自動作成することができること 自動作成した印刷データは任意に参照でき、印刷することができること		
	3	基本的に A4 サイズで統一していること		
	4	抽出条件、打ち出し順の選択の幅が広いこと		
	5	印字途中での中断、取消、保留、継続が選択できること		
	6	基本的に罫線付きであること		
	7	プレビュー機能で、画面で確認できること		
	8	蔵書データ、利用者データ、統計データなどを対象とし、抽出項目、抽出条件、集計単位を任意に指定し、印刷イメージ及びテキストファイルに出力できること。 また作成した抽出パターンは登録可能で繰り返し利用可能なこと。		
帳票		以下の帳票等が印字できること		
	9	貸出資料一覧		
	10	予約者連絡表（返却）		
	11	利用者リスト		
	12	多重登録利用者リスト		
	13	団体利用者リスト		
	14	未利用利用者リスト		
	15	督促リスト		
	16	督促はがき		
	17	長期延滞資料リスト		
	18	資料検索結果図書一覧		
	19	資料検索結果図書目録		
	20	新刊選書リスト		
	21	発注済新刊選書リスト		
	22	注文リスト		
	23	雑誌受入れ予定リスト		
	24	受入れリスト		
	25	未納品リスト		
	26	新着資料リスト		
	27	新刊リスト		
	28	雑誌受入れリスト		
	29	予算執行状況リスト		
	30	発注金額集計リスト		
	31	受入れ金額集計リスト		
	32	図書書名目録		
	33	図書著者名目録		
	34	図書分類目録		
	35	図書件名目録		
	36	雑誌タイトルリスト		

	37	AV タイトル順目録		
	38	AV 人名順目録		
	39	AV 分類目録		
	40	AV 件名目録		
	41	人名典拠リスト		
	42	出版者典拠リスト		
	43	件名典拠リスト		
	44	図書原簿		
	45	除籍予定リスト		
	46	雑誌一括除籍予定リスト		
	47	除籍リスト		
	48	除籍原簿		
	49	未利用資料リスト		
	50	蔵書点検エラーリスト		
	51	蔵書点検もれリスト		
	52	不明資料リスト		
	53	利用統計日報		
	54	利用統計月報		
	55	利用統計年報		
	56	相互貸借月報		
	57	相互貸借年報		
	58	曜日別利用統計年報		
	59	地区別利用登録者集計		
	60	地区別利用冊数		
	61	団体貸出年報		
	62	雑誌号別貸出冊数集計		
	63	蔵書統計年報		
	64	受払年報		
	65	ベストリーダー		
	66	予約ベスト		
	67	AV 利用状況リスト		
	68	雑誌別予約件数集計		
	69	貸出予約状況年報		
	70	広域利用統計		
レシート		以下のレシートが印字できること		
	71	貸出票		
	72	返却期限票		
	73	予約割当票		
	74	予約回送指示票		
	75	回送指示票		
	76	配架指示票		
	77	借受返却指示票		
	78	予約リクエストカード		
	79	予約状況レシート		
	80	資料レシート		
	81	書誌レシート		
	82	タイトル一覧		
	83	利用者番号通知票		
	84	所在場所一覧レシート		

【自動貸出機連携】

処理機能	項目	要求機能	回答	対応方法
全般	1	タッチパネルディスプレイを利用したシステムであること		

画面構成・表示	2	画面構成は、誤動作を起こしにくく、初めての利用者であっても、操作方法が分かり易い等、ユーザビリティに優れた画面を用意すること		
画面展開	3	子供の利用を想定し、容易な操作で貸し出し可能であること		
貸出手順	4	リライトカードを使用した貸出しが可能なこと またスマートフォンの画面に表示された利用者番号バーコードを使用した貸出しが可能なこと		
	5	リライトカードの読み込みにより、利用者番号を認識し、ICリーダーライターにより貸出し資料番号の認識を行うこと		
	6	読取をした資料番号により、リライトカードに貸出し資料名と返却期限日を印字すること スマートフォンの画面に表示された利用者番号バーコードを使用した貸出しの場合は、レシートに貸出し資料名や返却期限日が印字すること		
	7	貸出期限はカウンターで貸出しを行った場合と同じ期限が設定・印字されること また、必要な場合には、任意の貸出し期限が設定できること		
	8	貸出し資料の種別は（図書・雑誌）のみとする		
	9	貸出し処理は、貸出し資料の IC タグ情報の書き換え（ゲート通過を許可にする）を行って完了すること		
	10	貸出し資料情報の入れ替わりが発生しないように、万全の措置を施すこと		
	11	以下の場合には貸出しを中止し、画面に必要なメッセージを表示し、貸出しカウンターへ誘導するようにすること また、アラーム音又は音声により、職員が事態を認識できるようにすること ・利用者カードの更新期限が到来している場合 ・利用者への連絡のコメントのある利用者の場合 ・貸出し停止期間中の利用者の場合 ・コメント付き（付録等）の資料を借りようとした場合 ・貸出禁止の資料を借りようとした場合 ・AV 資料を借りようとした場合 ・貸出し点数の利用制限を超えて、貸出しを行おうとした場合 ・貸出し資料の中に未返却の資料がある場合 ・その他必要な場合		
	12	画面を触らない時間（任意設定）が一定を過ぎたら、お知らせ等の自動表示、もしくは初期画面に戻ることに		
	統計処理	13	館内ごと自動貸出機の利用統計が集計されること	
14		自動貸出機ごと利用者人数・貸出し冊数等の統計が集計されること		
15		カウンターでの貸出しと、自動貸出機の貸出しは分けて統計資料印字出力・データ出力を行うこと		
16		自動貸出機の利用統計は、期間指定により曜日・館別の集計ができること		

【既設機器との連携】※島田市立図書館既設設備仕様書を参照すること。

処理機能	項目	要求機能	回答	対応方法
BDS ゲート	1	金谷図書館 BDS ゲート（納品元：㈱内田洋行）との連携がとれること		
サーバラック	2	納入サーバは、島田図書館のサーバラック（NEC 製）にラッキングできること		